

NAGASE

2013年(平成25年)3月期 決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

2013年5月27日

◆ 目 次 ◆

- 2013年3月期の決算概況
- 2014年3月期業績見通し
- 生活関連セグメントの成長戦略について

2013年3月期 の決算概況

- ・ 海外の需要回復により売上は前期比344億円の増収
- ・ 林原の寄与、固定資産売却益もあり当期純利益は141億円(56億円の増益)

(単位:億円)

	12/03	13/03	増減	前期比	公表値 (2Q修正)	達成率
売上高	6,318	6,662	344	105%	6,710	99%
売上総利益 <利益率>	716 <11.3%>	825 <12.4%>	109 <+1.1%>	115%	840 <12.5%>	98%
販売管理費	▲582	▲670	88	115%	▲676	101%
営業利益	134	155	21	116%	164	95%
経常利益	156	179	22	114%	176	102%
当期純利益	85	141	56	166%	136	104%
為替レート	@79.62	@83.32	3.7円安		@78.00	

※新規連結会社:計6社、新規持分適用会社:計11社

(1円あたりの為替変動による売上高および営業利益への影響)

1円のドル円レート変動による影響額

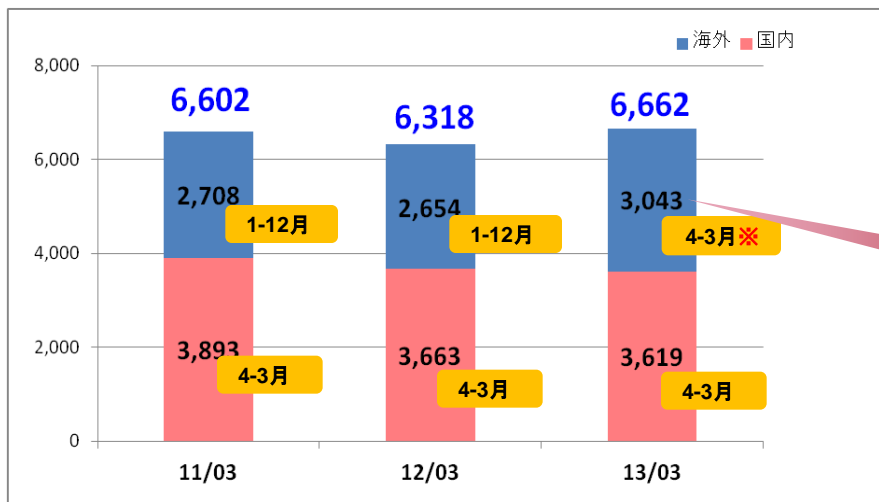
13/03実績に与えた影響額

売上高 約46億円
営業利益 約1.5億円

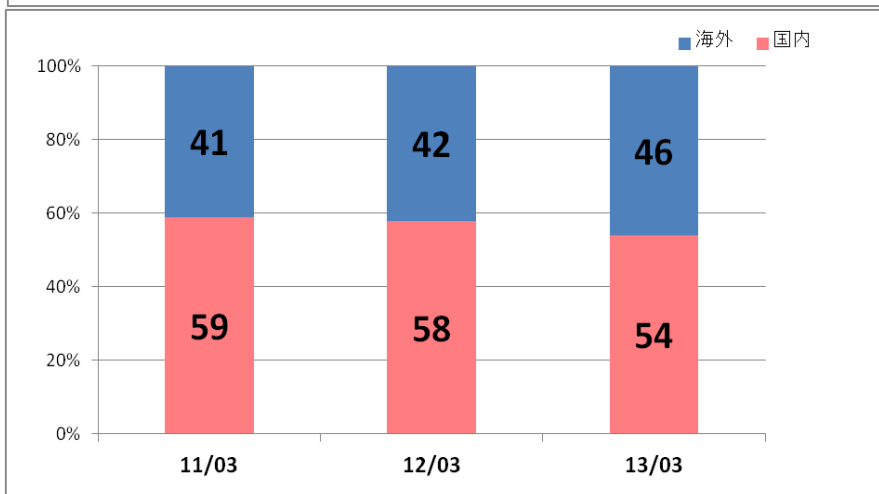
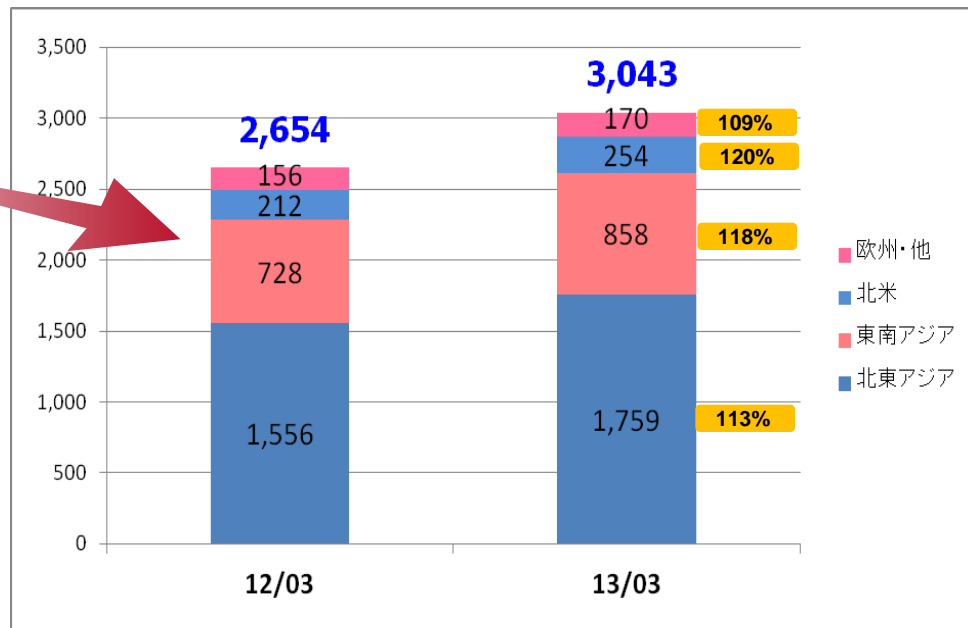
+約175億円
+約5.8億円

売上高 6,662億円 (国内3,619億円、海外3,043億円)

前期比344億円増(+5.4%) <国内43億円減(▲1.2%)、海外388億円増(+14.6%)>



海外売上の地域別内訳(前期比)

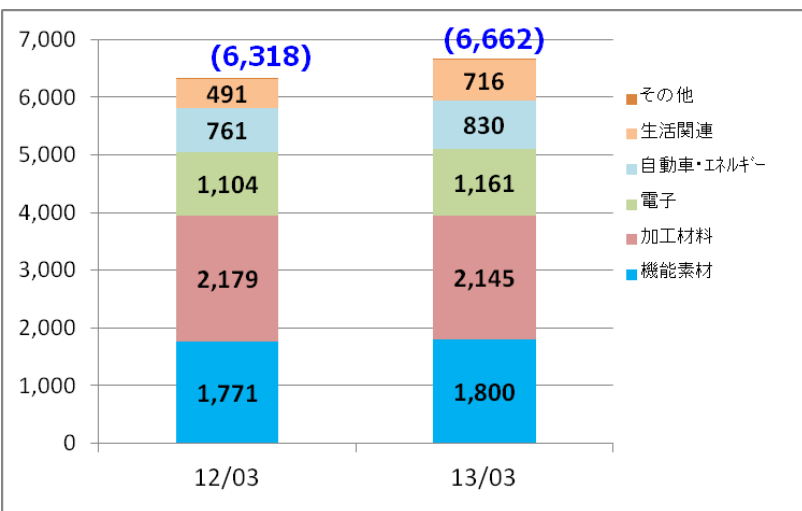


— 海外売上比率は上昇(42%→46%) —
北東アジア及び東南アジア地域の売上増加の影響により、海外売上比率が上昇。

※2013年3月期より、海外子会社の決算期を統一したことにより、海外連結子会社の会計年度は1-12月から4-3月となっております。

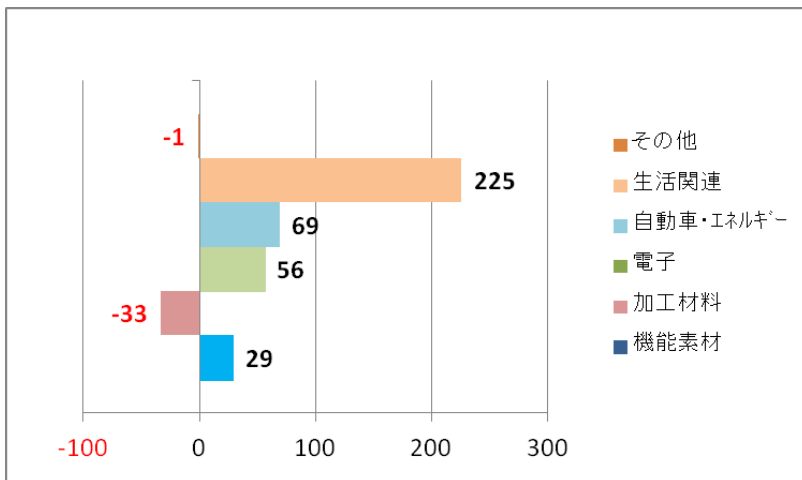
セグメント別売上高

(単位:億円)



セグメント別売上増減額 (前期比)

(単位:億円)



セグメント別の売上概況 (前期比)

機能素材 1,800億円(+29億円 V102%)

- 機能化学品事業は、塗料原料関連の増加及びシンガポールでの基礎化学品販売(スポットビジネス)等により増収
- スペシャルティケミカル事業は、自動車・繊維業界向けの加工油剤原料及びフッ素ケミカル販売の減少等により減収

加工材料 2,145億円(▲33億円 V98%)

- 色材事業は、顔料・添加剤関連、情報印刷関連材料の販売が減少、また繊維加工剤等の事業を持分法適用会社に再編集約したこと等により減収
- OA・家電用途関連事業は、北東アジアでの合成樹脂販売や成型機輸出の増加等により増収
- 機能性フィルム・シート及び樹脂成型品関連事業は、液晶用偏光フィルム精密検査装置販売の減少等により減収

電子 1,161億円(+56億円 V105%)

- 電子化学品事業は、半導体及び液晶パネル製造用薬液ビジネスの減少等により減収
- 電子資材事業は、北東アジアのタッチパネル用部材販売の増加等により増収

自動車・エネルギー 830億円(+69億円 V109%)

- 国内は、エコカー補助金の終了による自動車国内販売の減少等により減収
- 海外は、中国は反日デモの影響を受け自動車関連部材の販売が減少したが、北米及びアセアンで好調に推移したこと等により、全体で増収

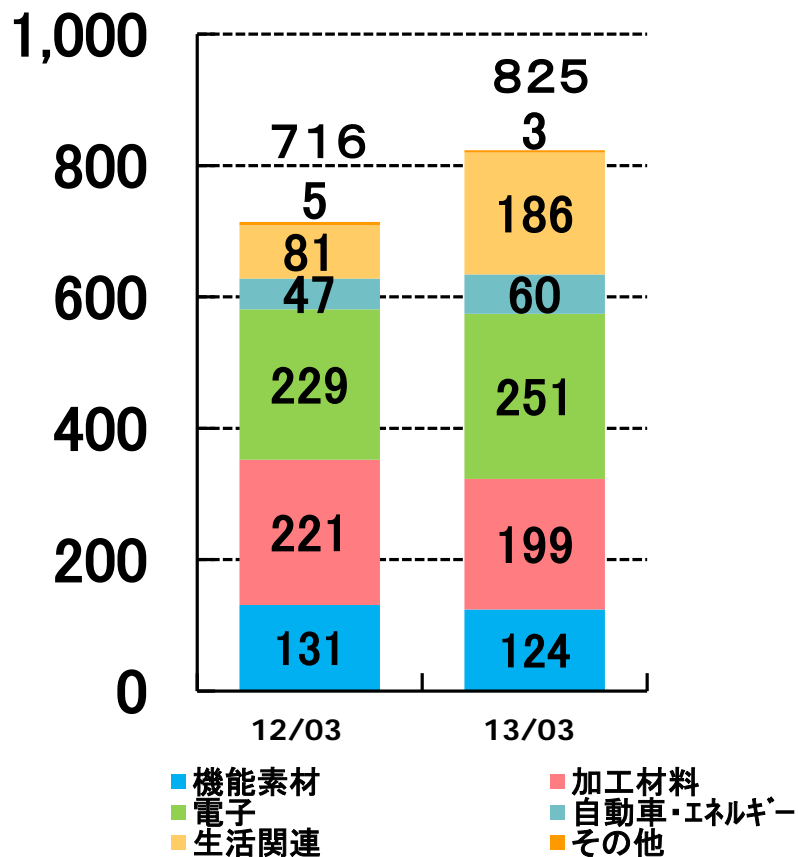
生活関連 716億円(+225億円 V146%)

- ㈱林原(機能性糖質事業)の連結により売上が大幅に増加(当期の売上高244億円)
- ㈱林原以外のファインケミカル事業は、検査薬・医療材料関連並びに酵素関連はナガセテムテックス(㈱製品)が、それぞれ堅調に推移し増収
- ビューティケア製品事業は、既存主力製品販売の減少等により減収

売上総利益 : 825億円 +109億円 15.3%増

<利益率:12.4% +1.1%>

(単位:億円)



セグメント別 売上総利益 (前期比)

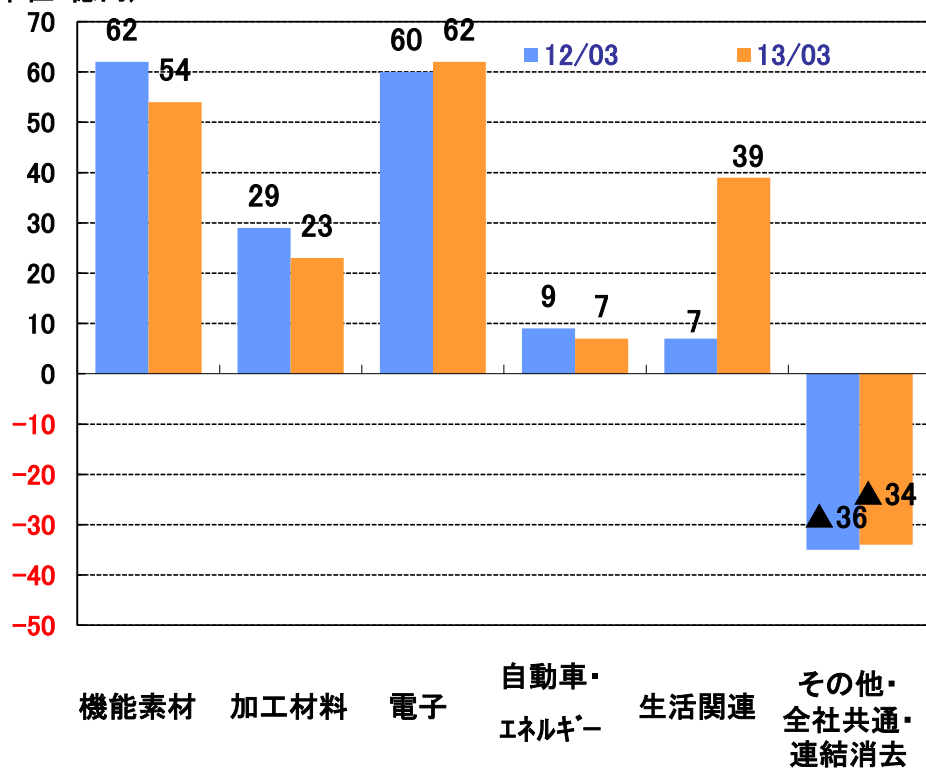
機能素材	124億円	▲7億円	5.3%減
<利益率:6.9%(▲0.5%)>			
加工材料	199億円	▲21億円	9.9%減
<利益率:9.3%(▲0.8%)>			
電子	251億円	+22億円	9.8%増
<利益率:21.7%(+0.9%)>			
自動車・エネルギー	60億円	+12億円	25.7%増
<利益率:7.2%(+0.9%)>			
生活関連	186億円	+105億円	130.2%増
<利益率:26.1%(+9.6%)>			

営業利益 : 155億円 +21億円 16.0%増

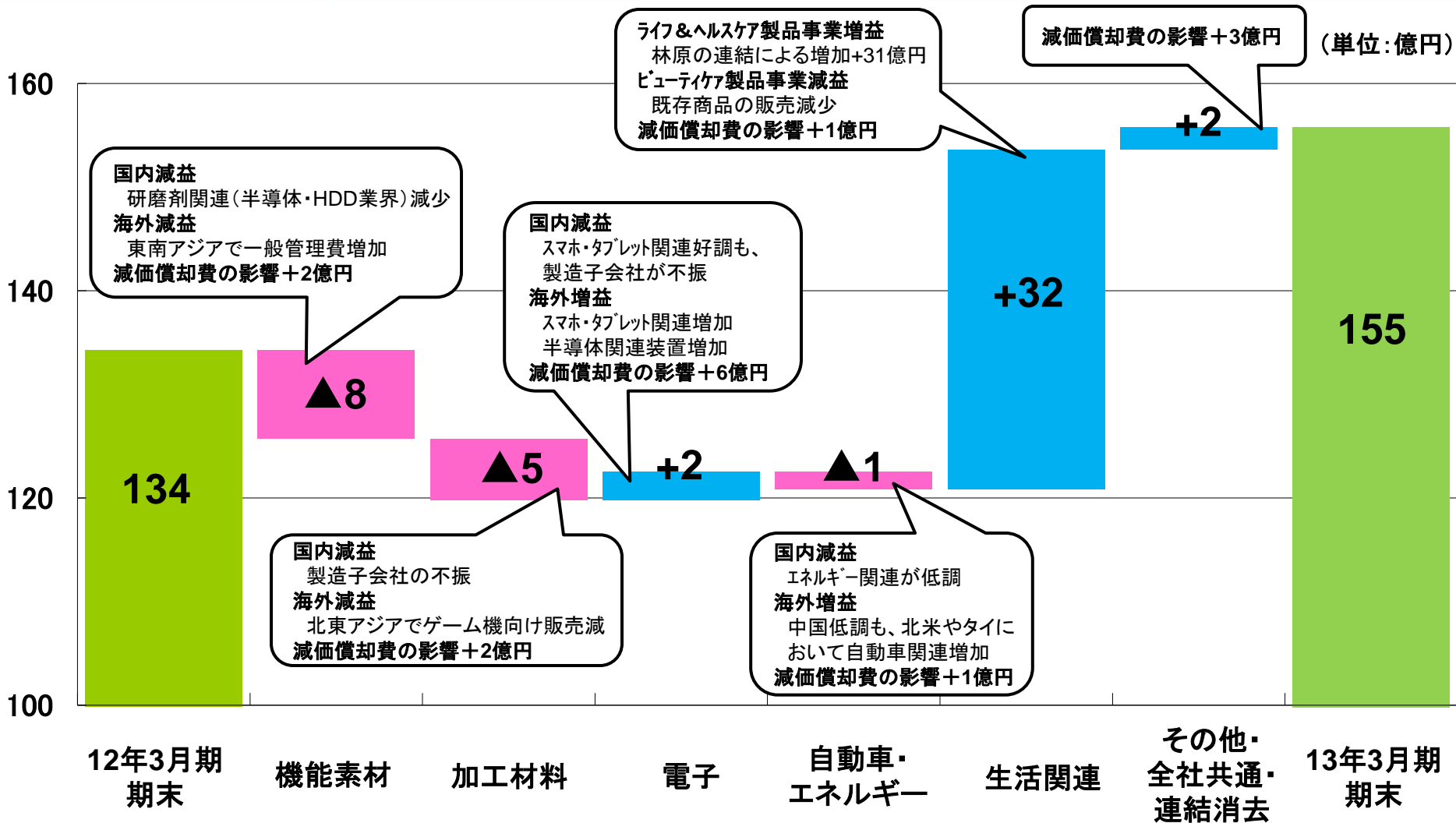
<セグメント別 営業利益>

セグメント別 営業利益(前期比)

(単位: 億円)

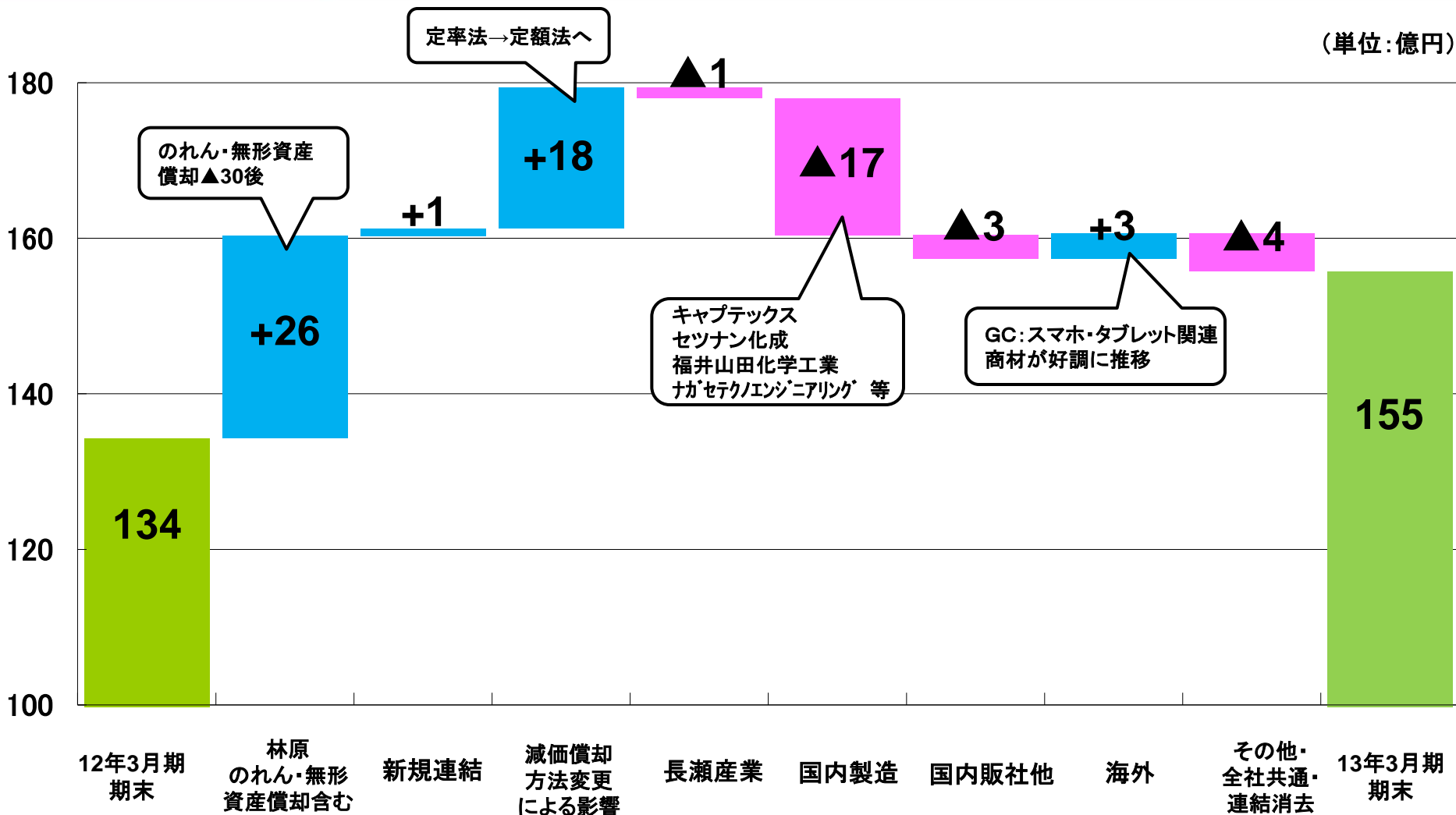


機能素材	54億円	▲8億円	13.6%減
加工材料	23億円	▲5億円	19.9%減
電子	62億円	+2億円	4.6%増
自動車・エネルギー	7億円	▲1億円	18.4%減
生活関連	39億円	+32億円	464.1%増



■ : プラス要因
■ : マイナス要因

(単位: 億円)



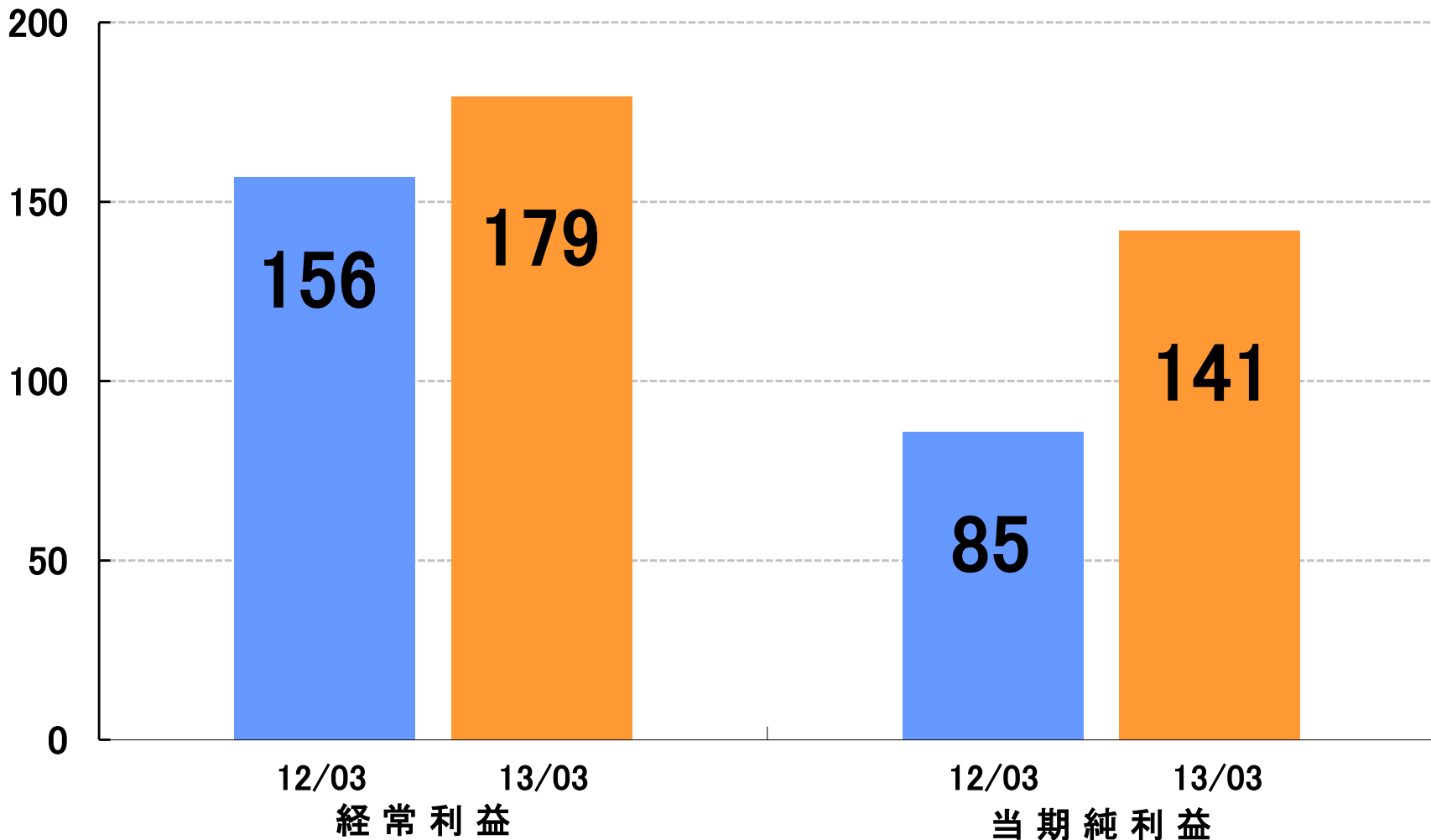
■ : プラス要因
■ : マイナス要因

※GC: グレーターチャイナ地域

經常利益 : 179億円 +22億円 14.3%増

当期純利益 : 141億円 +56億円 65.5%増

(単位:億円)



(単位:億円)

《資産》	12/03	13/03	増減	《負債及び純資産》	12/03	13/03	増減
現金及び預金	291	466	+175	支払手形及び買掛金	1,091	1,079	▲12
受取手形及び売掛金	1,977	1,960	▲17	短期借入金	501	354	▲147
棚卸資産	452	518	+66	その他流動負債	223	224	+0
その他流動資産	101	111	+10	長期借入金	382	326	▲55
有形固定資産	567	609	+42	社債	-	300	+300
無形固定資産	574	552	▲21	退職給付引当金	100	102	+2
投資有価証券	490	568	+78	その他固定負債	81	102	+20
その他固定資産	53	78	+24	負債合計	2,380	2,489	+108
				株主資本	2,011	2,117	+106
				(うち自己株式)	(▲54)	(▲71)	(▲16)
				有価証券評価差額金	127	179	+52
				為替換算調整勘定	▲91	▲12	+79
				新株予約権	1	0	▲0
				純資産合計	2,127	2,378	+250
				(自己資本比率)	(45.4%)	(46.9%)	(+1.5%)
資産合計	4,508	4,867	+359	負債及び純資産合計	4,508	4,867	+359

◆ 営業キャッシュ・フロー: 法人税等の支払63億円があったものの、税前利益194億円や減価償却費の足し戻し74億円等があり185億円の収入

◆ 投資キャッシュ・フロー: 有形固定資産の売却32億円があるも、有形・無形固定資産を122億円取得

◆ 財務キャッシュ・フロー: 社債発行による298億円の収入、借入金の返済162億円 (単位: 億円)

	13/03	主な内訳	12/03
営業活動による キャッシュ・フロー	+185	税前利益 +194 億円 減価償却費 +74 億円 のれん償却費 +16 億円 減損損失 +18 億円 運転資金 +1 億円 法人税等 ▲63 億円 等により	+56
投資活動による キャッシュ・フロー	▲95	有形固定資産の取得 ▲105 億円 無形固定資産の取得 ▲17 億円 有形固定資産の売却 +32 億円 等により	▲81
財務活動による キャッシュ・フロー	+11	社債発行による収入 +298 億円 長期借入による収入 +46 億円 借入金の返済による支出 ▲162 億円 配当金の支払い ▲31 億円 等により	+569
現金及び現金同等物の増減	+126	現金及び現金同等物に係る為替差額 24億円含む	▲188
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増減	+9	長瀬電子科技(厦門)有限公司+6億円 Nagase India Private Ltd.+1億円、 ナガセツールマテックス(株)他3社+1億円	+1
決算期変更に伴う現金 及び現金同等物の増減	+37	日本+1億円、グレータチャイナ+38億円、アセアン▲5億円、 欧州+2億、北米+0億円	—
現金及び 現金同等物の期末残高	458	貸借対照表上の現預金残高466億円－内3ヵ月超の定期預 金残高8億円＝458億円	285

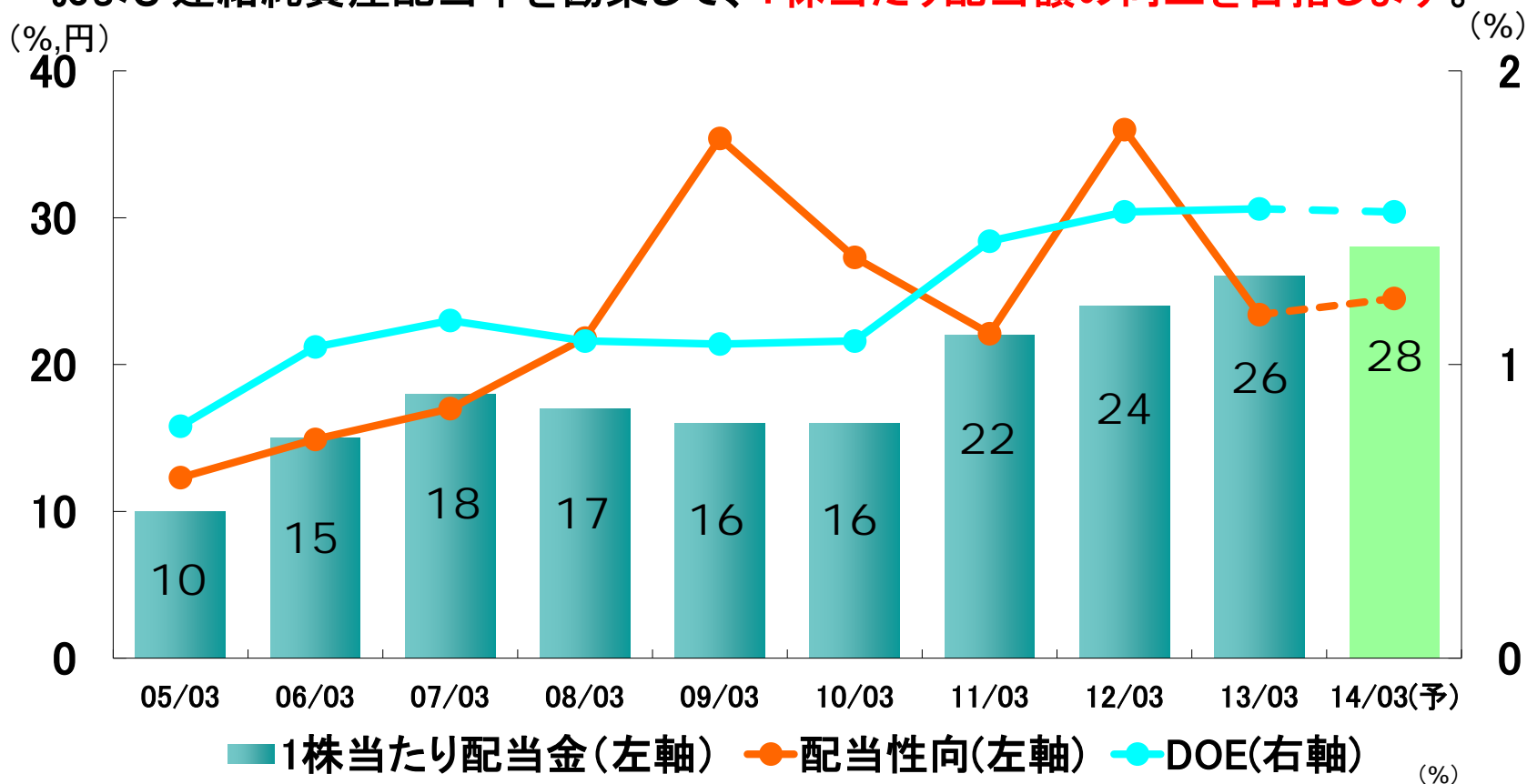
(単位:百万円)

	社名	売上高	前期比	営業利益	前期比	当期純利益	前期比
単体	長瀬産業	423,513	97%	2,979	116%	6,652	87%
製造会社	ナガセケムテックス	26,273	97%	2,743	100%	1,382	90%
	林原	25,223	-	2,603	-	2,121	-
	東拓工業	7,571	99%	196	84%	185	166%
	※製造会社計※	89,210	126%	5,899	140%	1,950	115%
国内販売会社	ナガセプラスチックス	29,141	98%	304	112%	159	121%
	ナガセケミカル	15,805	117%	197	96%	111	107%
	ナガセエレックス	8,174	109%	166	93%	96	103%
	※国内販売会社計※	79,586	90%	1,248	84%	638	100%
海外販売会社	長瀬香港有限公司	57,467	116%	1,052	134%	798	104%
	ナガセタイランド	29,675	125%	970	122%	730	122%
	ナガセアメリカ	23,593	115%	439	109%	274	110%
	※海外販売会社計※	276,924	119%	5,160	108%	4,111	101%

※注) 林原の業績は、のれん・無形資産償却後の理論値であり、税金等の影響は除いております。

※注) 各カテゴリの合計は、対象会社の単純合算値であり、連結決算数値と一致いたしません。

収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としており、連結配当性向および連結純資産配当率を勘案して、**1株当たり配当額の向上を目指します。**



	05/03	06/03	07/03	08/03	09/03	10/03	11/03	12/03	13/03	14/03(予)
配当性向	12.3	14.9	17.0	21.8	35.4	27.3	22.1	36.0	23.4	24.5
DOE	0.79	1.06	1.15	1.08	1.07	1.08	1.42	1.52	1.53	1.52

※13/03期の期末配当は、2013年6月開催予定の株主総会にて付議予定

2014年3月期業績見通し

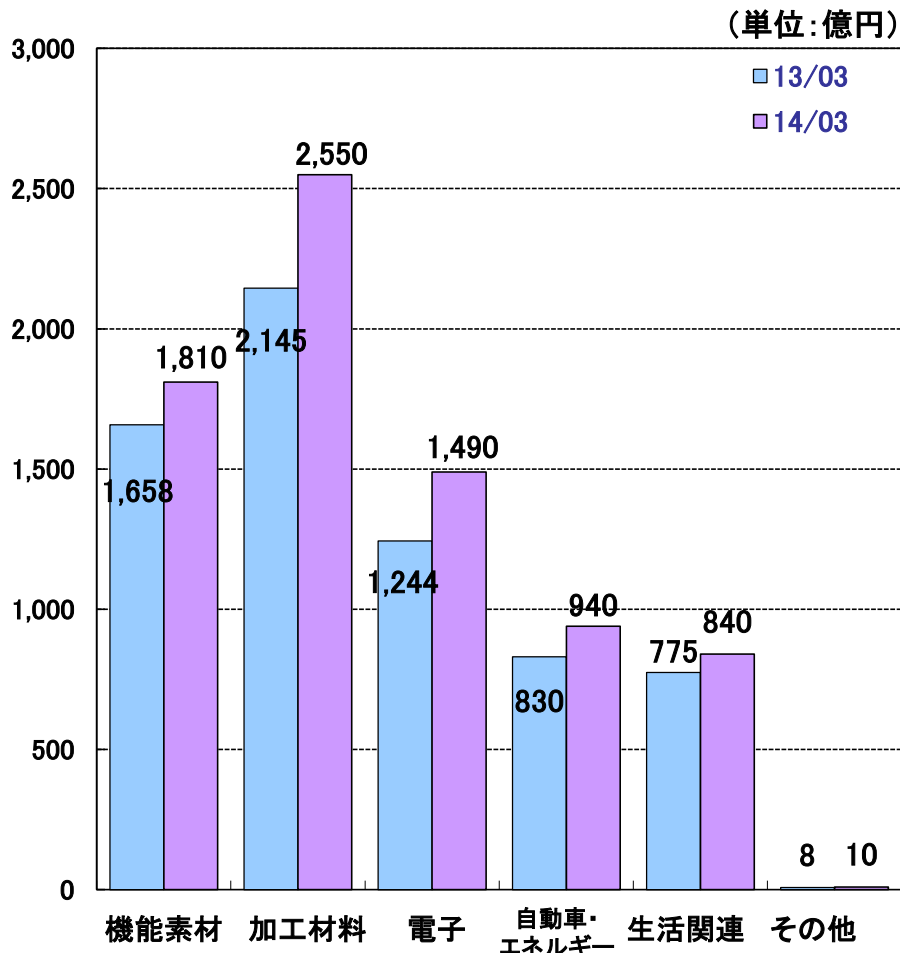
(単位:億円)

	13/03 実績	14/03 見通し	増減	前期比
<u>売上高</u>	<u>6,662</u>	<u>7,640</u>	<u>+977</u>	<u>115%</u>
売上総利益 <利益率>	825 <12.4%>	934 <12.2%>	+108 <▲0.2%>	113%
<u>営業利益</u>	<u>155</u>	<u>192</u>	<u>+36</u>	<u>123%</u>
経常利益	179	210	+30	117%
<u>当期純利益</u>	<u>141</u>	<u>145</u>	<u>+3</u>	<u>102%</u>
1株当たり年間配当金	26円	28円	+2円	-
想定為替レート(1US\$)	83.3円	95.0円	11.7円安	-

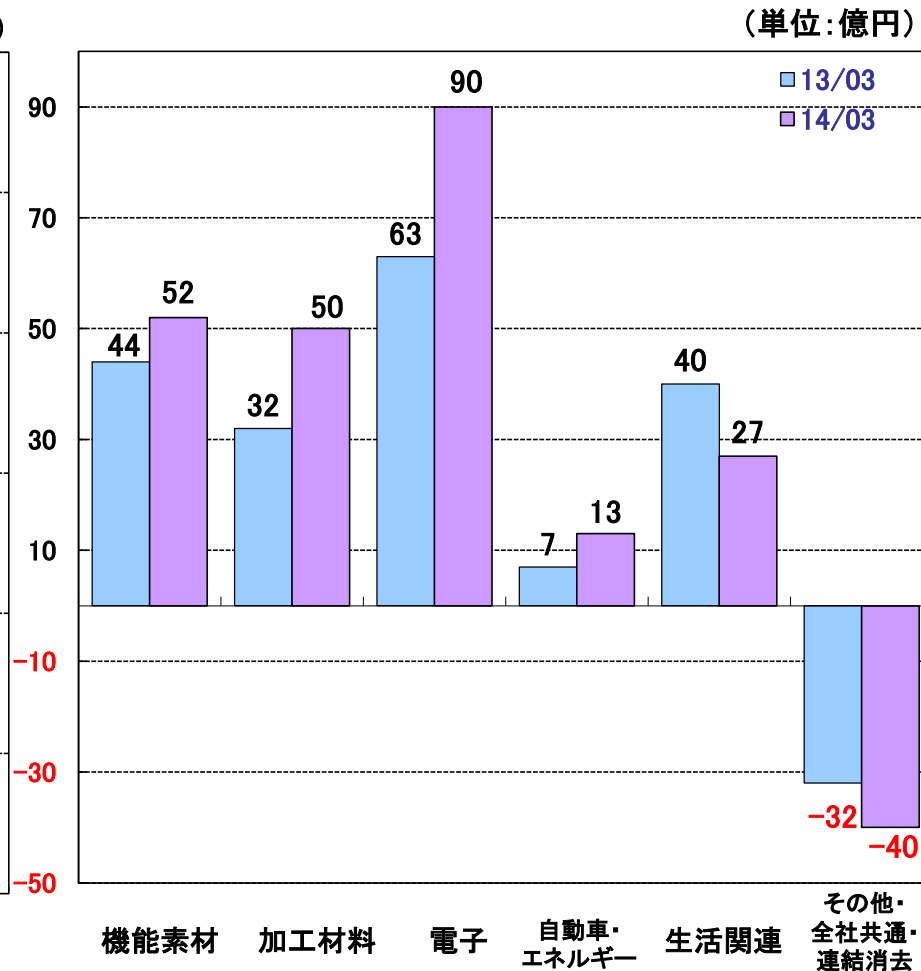
・海外増益 / 国内減益

・赤字子会社の赤字縮小 +13億円、退職給付債務数理差異の影響 ▲15億円(13/03期 ▲7億円)

<セグメント別 売上見通し>

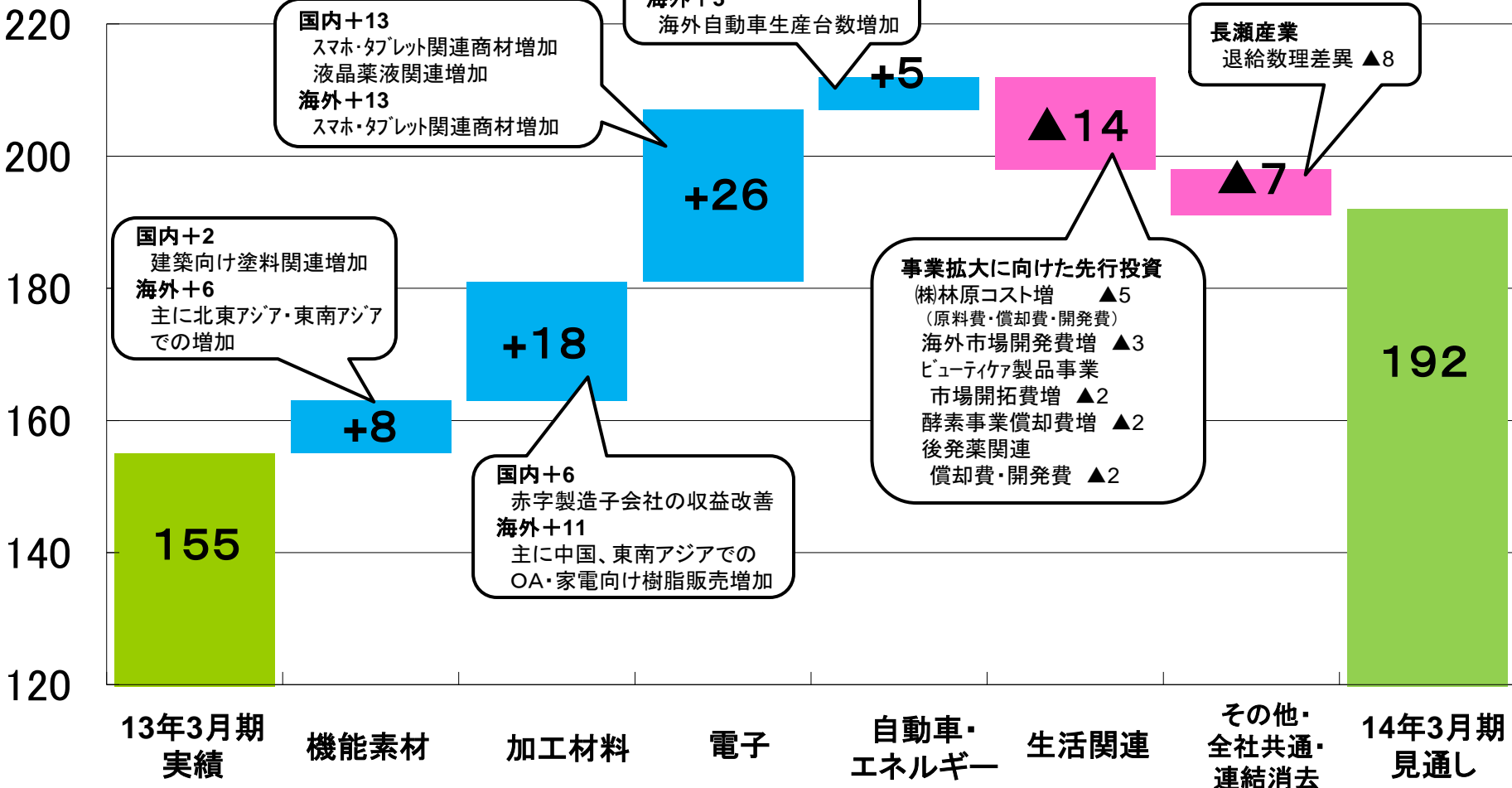


<セグメント別 営業利益見通し>



※14/03期より、従来機能素材セグメントに含まれていた半導体・HDD業界向け研磨剤販売事業を電子セグメントへ移管、同じく機能素材セグメントに含まれていた化粧品業界向け原材料販売事業を生活関連セグメントへ移管しております。13/03期実績についても組替後の数値に変更し記載しています。

(単位: 億円)



■ : プラス要因
■ : マイナス要因

【重点分野における事業強化】

1 バイオ関連技術を活用した分野

- 林原の主力製品の拡販、新製品の上市を実施。海外販売活動の見直しを図りグローバル展開を開始
- 神戸大学等と継続中の「バイオプロダクション次世代農工連携拠点」が文部科学省より継続プログラムとして採択
→ナガセR&Dセンター主体に本プログラムを通じてバイオ技術の研究開発を推進
- 食品・農業等が盛んな南米におけるバイオビジネス等の市場調査を目的に、ブラジル現地法人を設立

2 環境・エネルギー関連技術を活用した分野

- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始により、太陽光発電のシステム販売が堅調に推移
- キャプテックスの環境対応車向けの二次電池モジュール量産工場が稼働
→2013年6月販売開始予定の小型電源に加え、同社技術を活用した用途開発を加速

3 エレクトロニクス関連技術を活用した分野

- スマートフォン・タブレット端末等向けにグローバルな提案・調達活動により部材販売が好調に推移
- Engineered Materials Systems Inc. (米国)においてタブレット端末等の電子部品向けに導電性材料の販売が好調に推移
- 現地ニーズに合った製品の開発機能を拡充するため、長瀬精細化工(無錫)有限公司にて研究開発棟の建設を開始

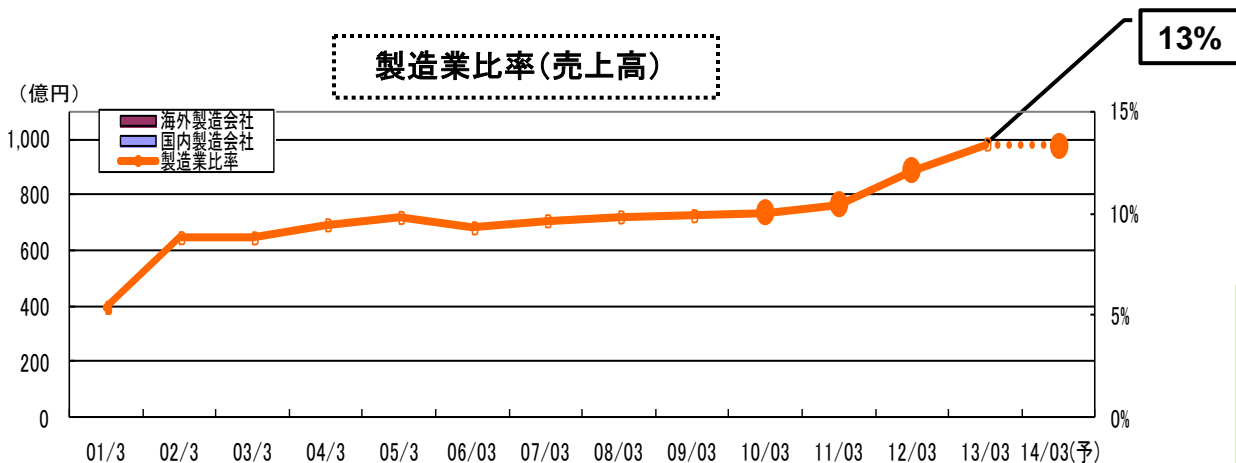
【運営基盤の強化】

- 「投資ガイドライン」を策定し、投資に対する基準等の明確化、意思決定のスピードアップ、投資後のモニタリングを強化
- メーカーポジションの取引リスク管理を強化すべく、リスクの可視化とリスク軽減を図る取組みを実施
- シンガポールにROC (Regional Operating Centre)を設置
- グループ全体の人事交流および人事制度整備を実施

【目標数値】

	2012年度実績	2013年度見通し	2014年度目標
売上高	6,662億円	7,640億円	8,000億円
営業利益	155億円	192億円	300億円
ROE	6.5%	6.2%	8.0%

製造機能、研究開発機能、技術・情報力、グローバルネットワークを強化する投融資の実行により、独自性・優位性を創出し、事業の質の向上と企業価値の向上を図っております。



投資(3年間)

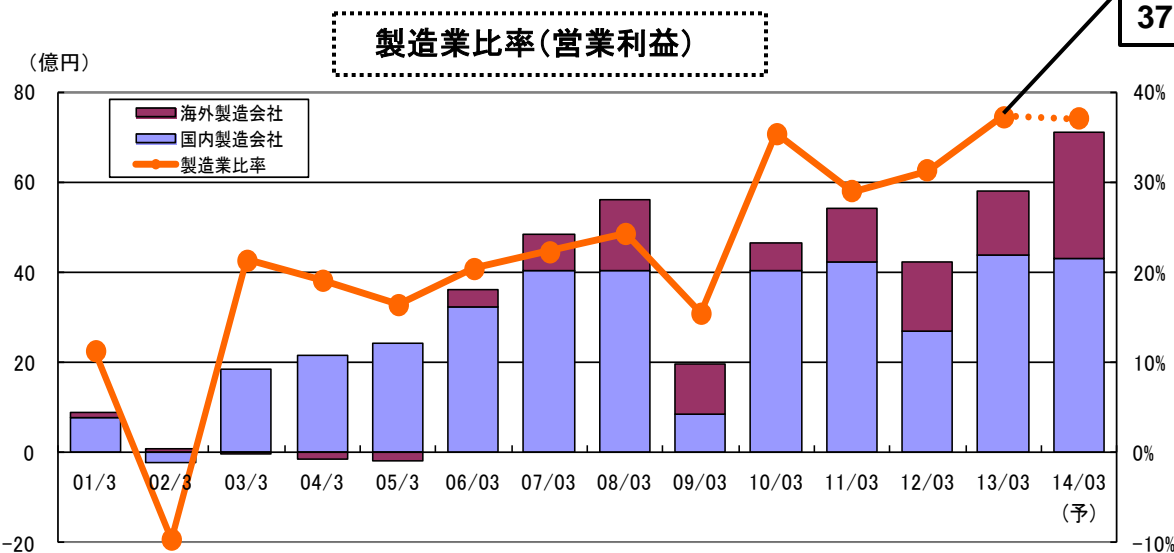
予定
400億円

重点分野を
中心とした新規投資
300億円

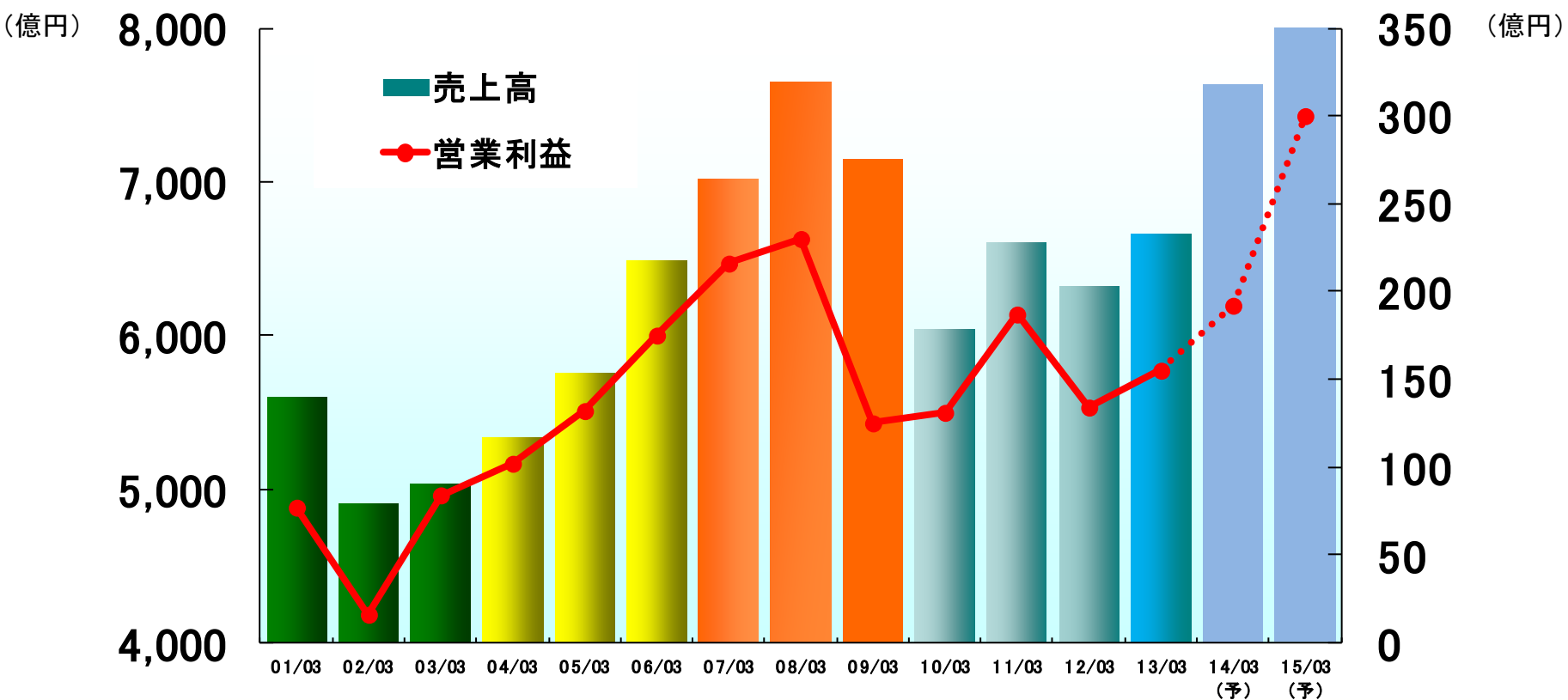
実績
120億円

既存設備更新
100億円

13/03実績
120億円



Change-S2014



生活関連セグメントの成長戦略について

取締役 兼 執行役員 生活関連セグメント担当

森 下 治

1. 生活セグメントの事業ミッションについて
2. 同事業の領域と方向性について
3. 同 組織体系
4. 最近の主な生産設備投資について
5. 事業分野別 売上見通し（2012－2014年）
6. 林原事業の現況と今後について
7. 糖質・酵素事業 研究開発促進について
8. 医薬・医療材料 及び パーソナルケア事業の方針



NAGASE Value Chain Creation

The diagram illustrates the NAGASE Value Chain Creation process. At the top, a large green arrow points to the right, labeled 'NAGASE Value Chain Creation'. Below this, three vertical bars represent the core business areas: '機能素材' (Functional Materials) in a light green bar, '加工材料' (Processed Materials) in a light orange bar, and a stack of three bars representing end markets: '電子' (Electronics) in a light green bar, '自動車・エネルギー' (Automotive & Energy) in a light orange bar, and '生活関連' (Life-related) in a light red bar. A large downward-pointing arrow is positioned below the diagram, leading to the text below.

機能素材

加工材料

電子

自動車・
エネルギー

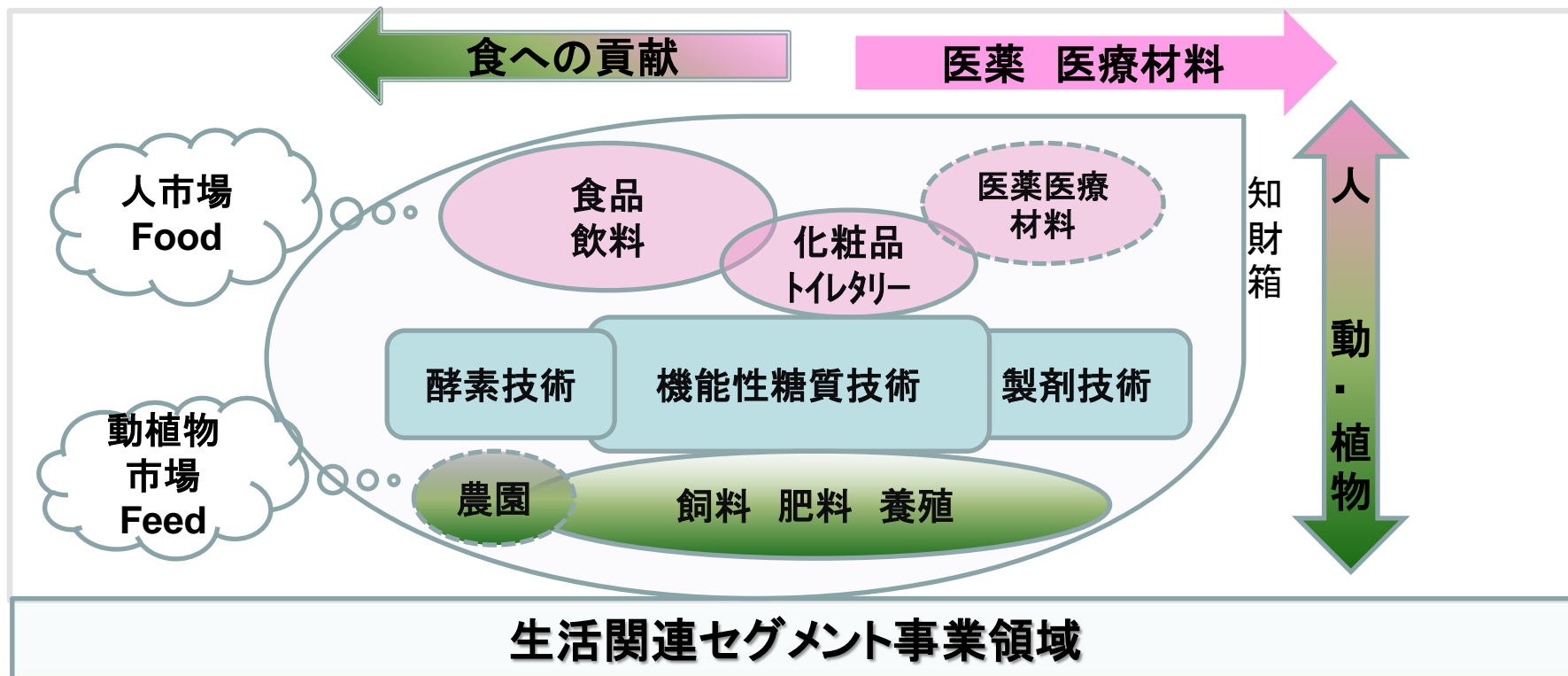
生活関連

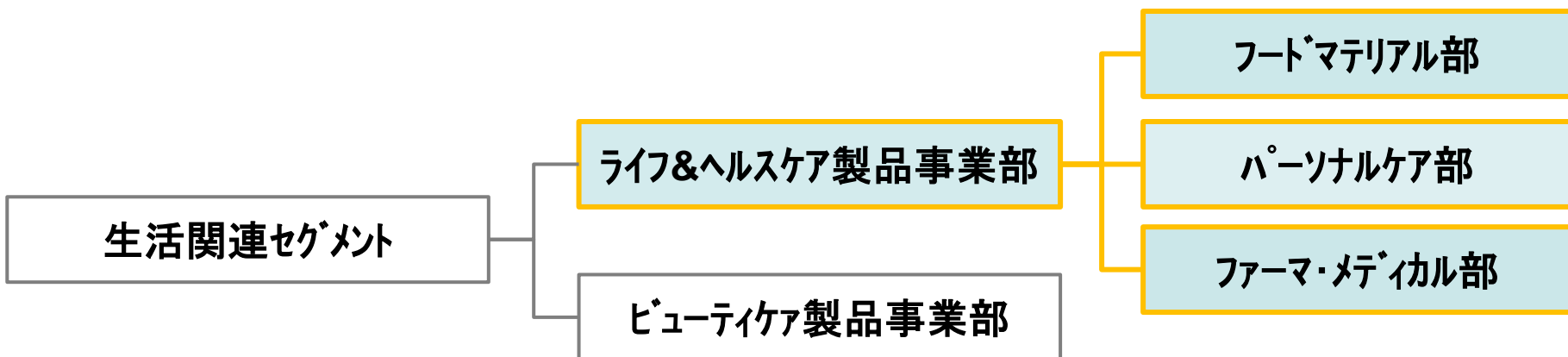
(景気変動を吸収する事業を育成し、経営基盤を強化する)

‘人が健康で豊かに生活することに貢献する’

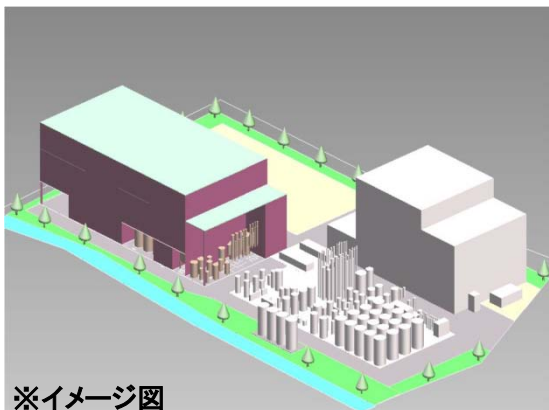
「食品・飲料」「化粧品・トイレットリー」「医薬品・医療材料」を基盤に、
商社としての機能やグループ企業の経営資源を積極的に活用し、
グローバルに市場を獲得することで事業拡充を図る

- ① 糖質・酵素等機能素材を中心に食品業界への深耕（Food～Feed迄）
- ② 医薬・医療材料事業は、製剤・合成・薬事機能を活用し、事業の安定拡大を図る
- ③ 化粧品・トイレタリー分野は、グローバルな視点で林原製品拡販を実施し、また商社として機能素材の開発展開を図り、事業価値を拡大
- ④ 機能素材によるアグロ事業の育成で食への貢献（Food～Feed迄）





組織	業界	活動領域	グループ製造企業	代表的な製品
フードマテリアル部	食品・アグロ	海外／国内	林原	トレハ [®] 等の機能性糖質
			ナガセケムテックス	食品(加工)用酵素
		国内	川合肥料	有機肥料、加工食品材料
パーソナルケア部	化粧品・ toiletries	海外／国内	林原	AA2G [®] 等の機能性糖質
			ナガセケムテックス	リン脂質等の酵素誘導體
ファーマ・メディカル部	医薬・医療材料	国内／海外	ナガセ医薬品	抗がん剤
			林原	マルトース等の機能性糖質
		国内	ナガセケムテックス	原薬(API)



※イメージ図

株式会社林原（岡山県）
藤崎・今保地域へ新工場
（第一工場 スクラップ&ビルド）

生産機能強化

安定供給 効率的生産 新製品開発パイロット生産
2015年 春 完成予定



ナガセケムテックス株式会社（福知山工場）

〔延床面積 2200㎡〕

◆ **コーシャ・ハラル対応 新規酵素生産棟完成**

酵素のグローバル展開に向けた 事業基盤整備
食品・飲料関係へ展開する足掛かり

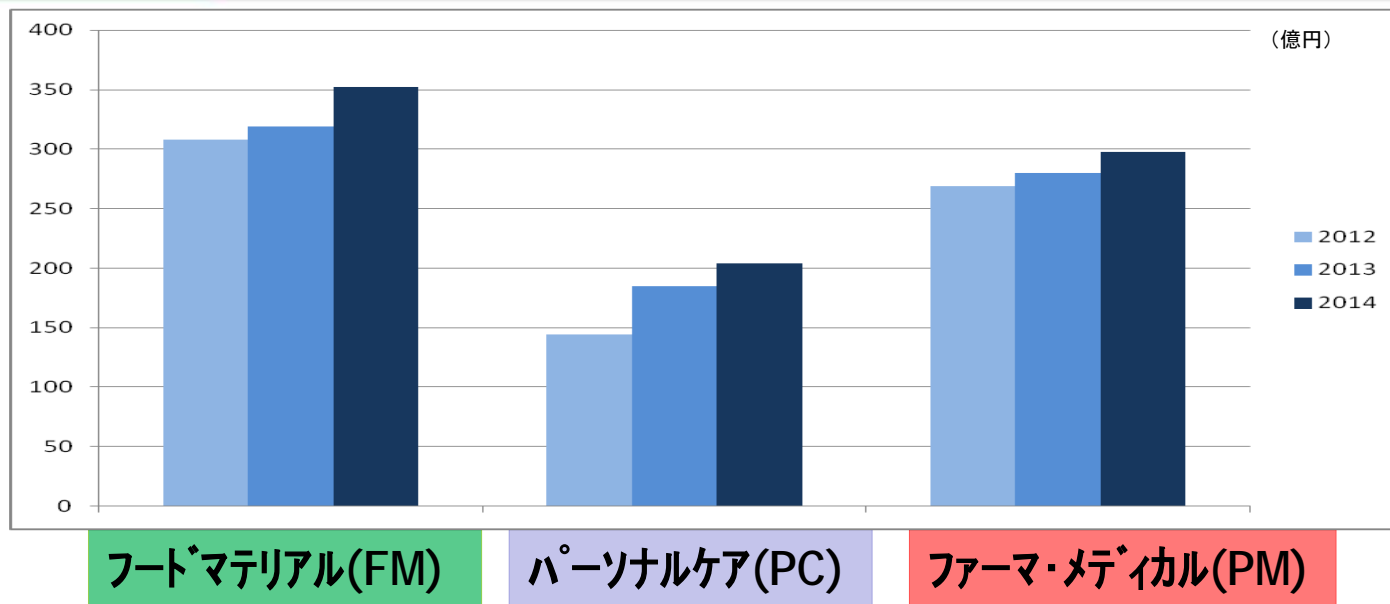
2012年末 完成済 本年度稼働開始



ナガセ医薬品株式会社（兵庫県伊丹市）

◆ **抗がん剤（後発薬）バイアル注射液生産**
新棟 地上3階建〔延床面積 約1000㎡〕

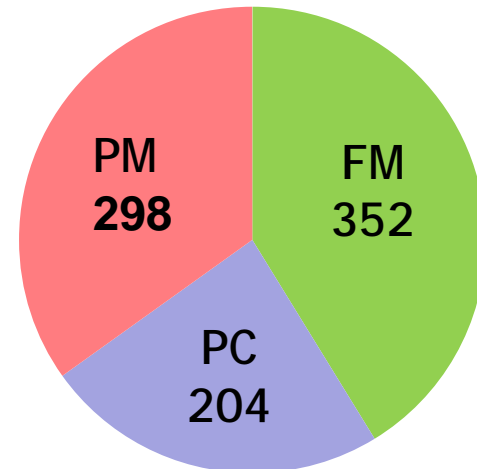
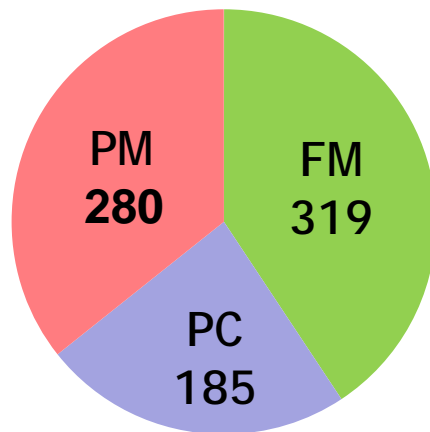
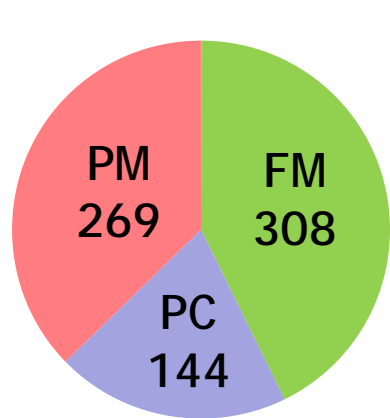
2013年 春 完成済



2012年度 775億円

2013年度 840億円

2014年度 920億円

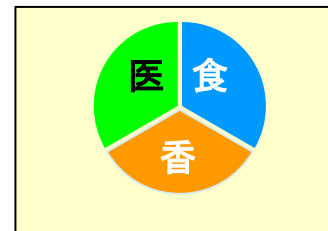
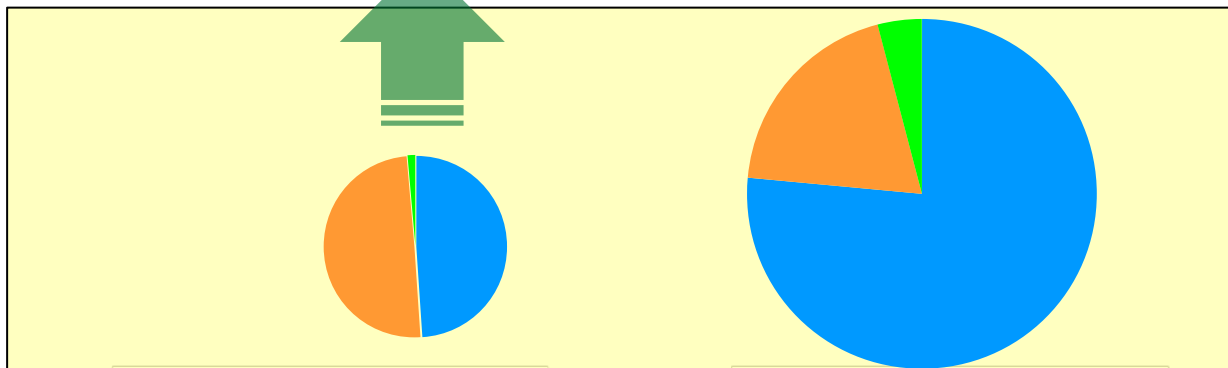
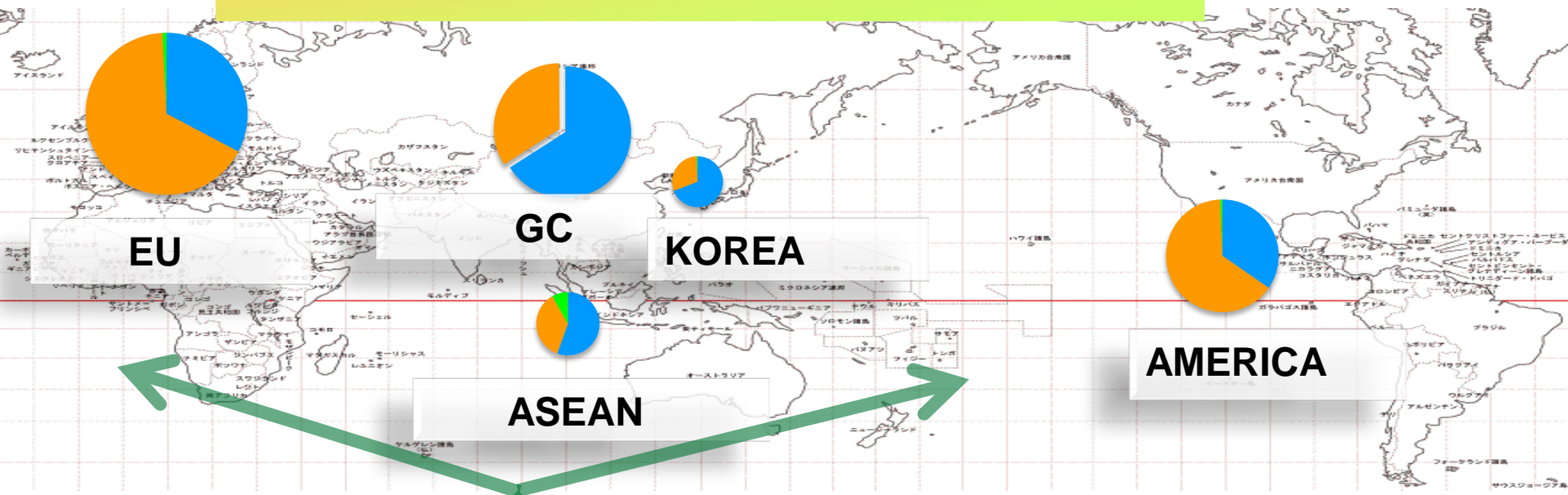


※生活関連セグメントには、この他に化粧品・健康食品の販売等を行うビューティケア製品事業部があり、実績及び見通しは下記の通りです。

2012年度:54億円 2013年度見通し:56億円 2014年度見通し:66億円

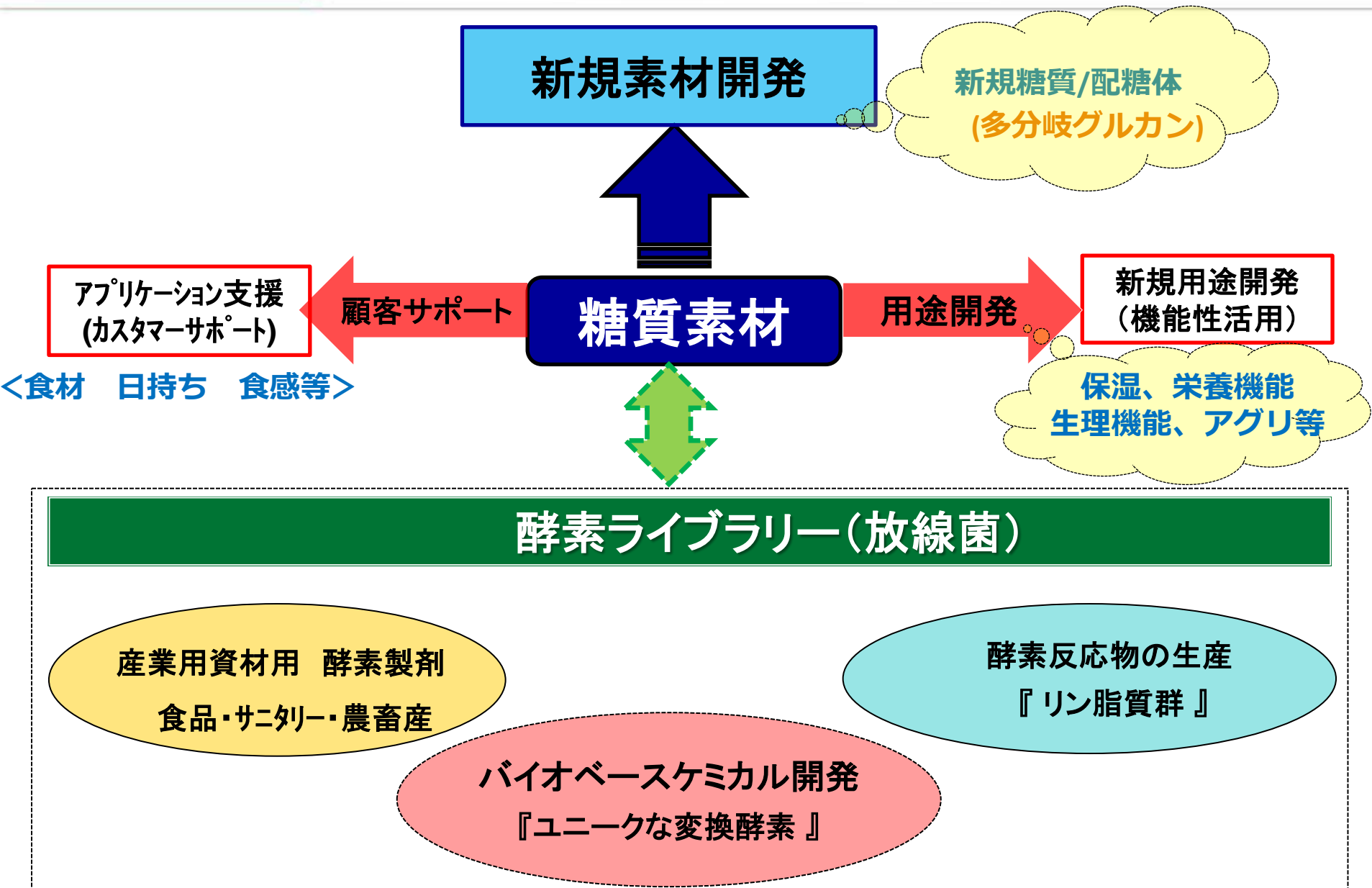
海外拡販 及び 用途開発拡充
 2012年 約250億円 ⇒ 2014年 約285億円

販売状況 略図
 (金額ベース)

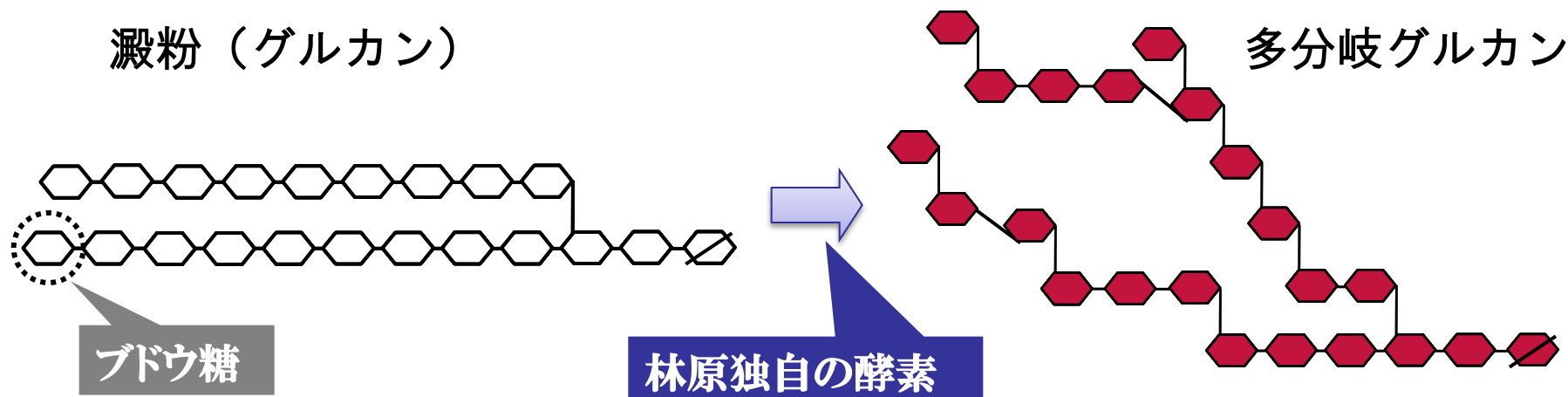


EXPORT 30

JAPAN 220



＜多分岐グルカン：林原の酵素テクノロジーを駆使して製造する多糖素材＞



澱粉、多分岐グルカンの構造は代表的な成分の推定図です

- 2013年3月26日、日本農芸化学会において発表
「肝臓への脂肪蓄積を抑制する効果」
「食後の高脂血症を抑制する効果」

食物繊維市場へ グローバル展開を図る



製剤



医薬・医療材料事業	製剤 (抗がん剤 海外原薬)
	賦形剤 添加剤 ケミカル
	API 原薬
	医療材料<潤滑 抗炎症剤 等>
パーソナルケア事業	美白剤(AA2G [®])グローバル展開加速
	基盤素材 展開
	グローバルサプライ機能

医薬医療材料・・・製剤化技術を生かし、抗がん剤及び関連商材によって事業拡大
 パーソナルケア・・・AA2G[®]を基幹商品として、裾野商材の開発で事業基盤強化

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2013年5月27日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。